※※日本災害医学会雑誌　投稿・執筆テンプレートです。タイトルページに投稿種別、和英タイトル、ランニングタイトル(欄外見出し)、和英抄録、和英キーワードを記載したのち、本文を作成してください。※※

＜**論文種別**＞ ※不要な部分を適宜削除してください。

総説、原著論文、調査報告、事例報告、体験レポート、研究速報、短報、Letter to the Editor

＜**タイトル**＞

＜**英文タイトル**＞

＜**ランニングタイトル**（全角20字以内）＞

＜**論文の要旨**（400字以内）\*＞　\*研究速報、短報，Letter to the Editorは不要

・原著論文、調査報告の抄録は構造化し【目的】、【方法】（、【対象】）、【結果】、【考察】（、【結語】）などとする。総説、事例報告、体験レポートの構造化は不要。

＜**論文の要旨（英）**（600 words以内）\*＞

・和英で抄録の内容を一致させる。構造化する場合、見出しは【Purpose】、【Method】（、【Subject】）、【Results】、【Discussion】、【Conclusion】などとする。

＜**キーワード**（日本語，3～5語以内）＞

＜**Keywords**（英語3～5語，日本語による索引用語と同内容）＞

＜本文＞　※種別に応じた見出し構成としてください。

**■ 原著論文、調査報告の見出し**

**Ⅰ.　背景と目的**（はじめに、緒言　など）

・中見出しは　1.　○○○、2.　○○○、3.　 ○○○…と番号をつける。

・小見出しは（1）、（2）、（3）…と番号をつける。

・本文は箇条書きを避け、論文調の文体とする。原著論文、調査報告は本文の文字数を12000字（英文の場合7500 words）以内とすること。

**Ⅱ.　対象と方法**

**Ⅲ.　結　果**

**Ⅳ.　考　察**

**Ⅵ.　結　語**（おわりに、など）

**謝　辞**（なくてもよい）

**利益相反の開示**

**文　献**

・文献は本文に出てきた順に1）、2）、3）…と番号を振りリスト化する。本文では肩付1)で示す。

・文献リストの記載方法は以下を参考にする。

＜論文誌＞　引用番号）著者名：題名．雑誌名　発行西暦年；巻：頁–頁．

1）今泉均，金子正光，丹野克俊，他：津波災害による負傷者の神経内分泌学的ストレス分析．救急医1995; 6: 689-94.

2）Headges JR, Dronen SC, Feero S, et al : Succinyl-choline-assisted intubation in prehospital care. Ann Emerg Med 1988; 17: 469-72.

＜書籍＞　引用番号）著者名：分担項目題名．編者名．書名．巻．版．発行所，発行地，発行西暦年，pp 頁–頁．（分担項目、編者、巻、版、頁は必須ではない）

1）鵜飼卓：阪神・淡路大震災．鵜飼卓他編．事例から学ぶ災害医療．南江堂，東京，1995， pp 35–48.

2）Gunn, SWA: International Cooperation in Disaster Medical Relief : the Role of UNDRO. In: Ohta M, Ukai T, Yamamoto Y, eds. New Aspects of Disaster Medicine. Herusu Publishing Inc., Tokyo, 1989, pp 38–44.

＜Website＞　引用番号）著者名：題名．ウェブアドレス、最終アクセス年月日．

1）Marion DW, Dommeier R, Dunham CN, et al: Practice management guidelines for identifying cervical spine injuries following trauma. Available online at: http://www.east.org. Accessed July 1, 2000.

2）災害時の診療録のあり方に関する合同委員会：災害診療記録2018報告書．　https://www.jaam.jp/info/2019/pdf/info-20190215.pdf（2020年5月31日最終確認）

**図表のタイトル、説明一覧**

・文献のあとに、図表のタイトル、説明一覧（Figure legends）を記載する。

・図表の和英とタイトル・説明の和英を一致させる。

・図/表は1点につき800字分換算（英文なら500 words）とし、数量制限なし（カラー可）。

**■ 事例報告、体験レポートの見出し**

**Ⅰ.　背景と目的**（はじめに、緒言　など）

　・事例報告、体験レポートの本文の文字数を10000字（英文の場合6250 words）以内とすること。ほか、中見出し、小見出しの記述方法は原著論文と同様。

**Ⅱ.　事　例**

**Ⅲ.　考　察**

**Ⅳ.　結　語**（おわりに、など）

**謝　辞**（なくてもよい）

**利益相反**

**文　献**記述方法は原著論文と同様。

**図表のタイトル、説明一覧**　記述方法は原著論文と同様。

**■ 総説、研究速報、短報、Letters to the Editor**

・総説は12000字（英文7500 words）、研究速報、短報は5000字（英文3000 words）、Letters to the Editorは2400字（英文1500 words）以内とする。

・見出しの構造化の指定なし。

・利益相反、文献、図表のタイトル、説明一覧の記述方法は原著論文と同様。

**＜投稿用チェックリスト＞**

責任著者が以下の内容について投稿前にチェックし、原稿本文の最後につけてください。

|  |
| --- |
|[ ]  最新の投稿規定（ <https://jadm.or.jp/contents/journal/docs/journal_regulations.pdf?220410> ）を 確認した |
|[ ]  筆頭著者、共同著者に少なくとも1名日本災害医学会の会員を含む |
|[ ]  全著者が本投稿内容に対し同等の責任を負う |
|[ ]  本会指定様式の「誓約書」、「利益相反申告書」を全著者分記載した |
|  | 投稿用本文ファイルで、以下の内容を確認した |
|[ ]  ①タイトルページに必要な情報を過不足なく記載した |
|[ ]  ②本文では、種別に応じた見出しを選択した |
|[ ]  ③文献は本文引用順に番号を肩付で示した |
|[ ]  ④文献の書誌情報（著者名、タイトル、年、巻、頁など）を適切に表記した |
|[ ]  ⑤図表とタイトルの和英は一致している |
|[ ]  ⑥てにをは、誤字脱字の確認をおこなった |
|[ ]  ⑦主語と述語の対応、略語の初出時スペルアウト・日本語表記は適切である |